

小学5年 教科 国語 「AI との暮らし」

柏市立柏第一小学校 桑澤 淳

1. 情報活用能力育成をめざす単元づくり

(1) 単元について

テーマに関する情報を比較・分類して、考え、話し合う単元である。テーマに関しての利点の立場・問題点の立場から意見を述べる際には、それぞれ視覚資料を工夫することで分かりやすくしながら、根拠をもって意見を述べ、相手を説得することを試みる。どのような資料を相手に提示できたら説得力があるのか、目的意識をもちながら情報を収集し、根拠をもって自らの考えを組み立て、分かりやすく相手に伝えられるようにしていきたい。また、情報を収集する過程においては、情報リテラシーの一環として、信頼できる情報とは何かも考えさせていきたい。

(2) 身に付けたい力（情報活用能力育成の視点から）

- ・1つのテーマに関して、目的意識をもって情報を収集する力。（情報の収集）
- ・利点の立場や問題点の立場に立って情報を整理し、根拠をもって自分の考えを組み立てる力。（整理・分析）
- ・自分の主張と根拠を合わせ、説得力のある発表資料を作成する力。（まとめ・表現）
- ・主張と根拠は合っているか、説得力のある工夫はあったかなど、観点をもちながら相手の意見を聞き取る力。（振り返り・改善）

(3) 学習計画（全8時間）

学習のゴール：立場を決めてミニディベートを行い、自分の考えを広げる。

	時	・学習内容 ○身に付けたい力
1 課題の設定	1	<ul style="list-style-type: none">・教科書の「ミニディベートとは」を読み、ミニディベートの学習の見通しを持つ。・教科書の例題から、それぞれの役割（利点、問題点、聞く）を確認する。・自分の立場を決め、発表する際にはプレゼン資料を作成し、聞き手に対して、説得力のある発表にすることが目的であることを伝える。・2つの立場に立って、意見を述べ合う話し合いになりそうなテーマを考える。 ※「電子マネー決済について」「接客やレジはロボットか人かについて」「学校は制服か私服か」「晴れか雨か」は教師から例示する。 ○ミニディベートを理解し、ミニディベートの流れを知る。
2 情報の収集	2	<ul style="list-style-type: none">・児童のテーマを決定し、「利点」「問題点」の立場を一人一人に伝える。・それぞれの立場に分かれて、情報をコラボノートに収集する。・情報を集める際には、その情報が信頼できる情報なのか「どこが出している情報か」「誰が書いた記事なのか」などを意識できるよ

		<p>うにする。</p> <p>○立場や目的に合わせて、情報を収集することができる。</p>
3 整理・分析	3 4	<ul style="list-style-type: none"> ・Jamboard の背景をクラゲチャートにし、それを活用して、自分の主張、理由、根拠を整理していく。(発表資料のため) ・主張→理由→根拠の流れを意識しながら、自分の考えを組み立てていく。(Jamboard) ・同じ立場同士で集まり、主張の理由は妥当かや、相手への質問、相手からの質問に対する反論を考える。(Jamboard) (協働) ・質問や反論を整理する。 ・クラゲチャートや同じ立場の人の意見を基にして、発表の構成を考える。 <p>○クラゲチャートを基にして、主張の理由や根拠を整理することができる。</p> <p>○質問事項や、反対意見、反論を整理することができる。</p>
4 まとめ・表現	5 6	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような資料を載せれば説得力を高めることができるのか考える。(インターネット、本、出典、インタビュー、アンケート、グラフ、写真、表) ・自分の主張を説得力のあるものにするために、スライドで資料を作成する。 <p>○自分の主張と根拠を合わせながら、説得力のある発表資料を作成することができる。</p>
5 振り返り改善	7	<ul style="list-style-type: none"> ・「利点」「問題点」「聞き手」に分かれてミニディベートを行う。 ・聞き手は、「意見と根拠が繋がっているか」などの視点をしっかりと持ちながら双方の意見を聞く。 ・聞き手は、発表が終わったら感想や評価を伝える。 ・発表後、自分の考えは広めることができたかや、改めてテーマについてどのように考えているのかなどの感想を forms で取りまとめる。 <p>○主張と根拠は合っているかや、説得力のある工夫はあったかなど、観点を持ちながら相手の意見を聞き取り、自分の考えを広げることができる。</p>

2. 実践の流れ

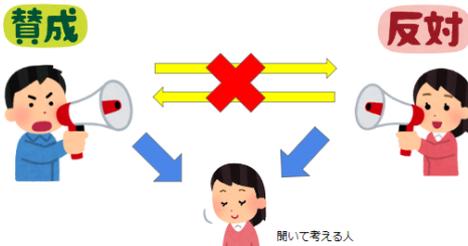
○課題の設定（1時間目）

ミニディベートという伝え方の形態は初めての経験なので、スライド資料を作成して、どのようなものなのかを共通理解した。



学習計画は、クラスルームに載せていつでも確認できるようにする。

利点からの意見を述べる人と問題点からの意見を述べる人は、聞いて考える人によく伝わるように、それぞれ意見を述べます。



ミニディベートの説明など、全体の説明で使った資料も、いつでも確認できるようにしておく。

○情報の収集（2時間目）

「ミニディベート」という伝え方の手段を知り、使えるようになるという目標もあるので、今回はテーマや立場を教師側で設定し、自分の個人的な感情があまり入らないように配慮した。「事実」や「根拠」のある情報が必要だということを再確認し、情報をコラボノートに収集していった。



コラボノートのページで情報の種類を分けた。ミニディベートの際に必要な「画像」や「グラフ」などの資料も集めた。

服装による個人差がなくていい
毎日服を選ばなくていい
仲間意識が芽生える
学校制服の良い点
学校制服の利点
学校を象徴する校章をつけた制服を着るのはその学校の生徒のみ誇りと自覚を持てる

毎日の服装を悩まなくていい！
服装による個人差が出ない！（平等である！）
連帯意識が芽生える！

学校制服の利点
毎日の服装に悩まなくていい 75.4%
学生らしく見える 53.3%
経済的である 37.6%
個人差が出なくていい 37.4%
どの学校か一目で分かる 27.6%
冠婚葬祭にも着られる 24.2%
公私のけじめがつかう 23.5%
きちんとした気分になる 16.2%
所属意識や仲間意識が高まる 13.7%
高圧の乱れを防止できる 6.9%
動機に打ち込める 5.2%
その他 0.5%
特になし 7.2%

このように、制服のほうがいいという一般の方々が多い
再田彩斗

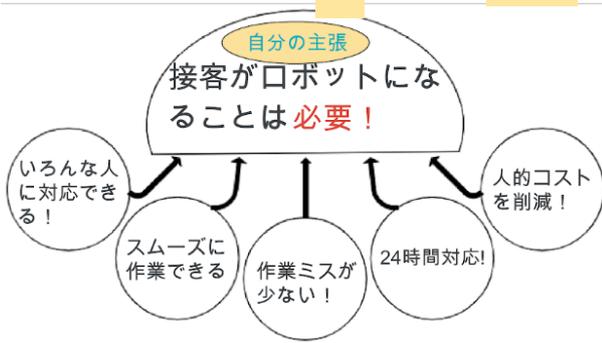
兄弟がいる場合、お下がり着させればいいので、お金などの節約になる！
朝がとて楽になる！
学校でしか、着れないので、学校生活が楽しくなる！
神田 虎鉄

服装が制服になることでメリッ
トとしては、服装に悩まなくて
いいし、服装を統一するため
の
賛成

学校制服であれば、「どの服をきていこうかなー」
と悩まなくてもすぐに「よし！決めた！」とすぐ
決めて学校にも遅れず快適な朝を過ごすことが
できるから、学校制服はいいと思う。
伊藤

インターネットなどから読み取って得た情報は「青色」、自分が考えた意見は「黄色」など、付箋の色で情報の種類を分けた。

○整理・分析（3～4時間目）



クラゲチャートを用いて、コラボノートに集められた情報の中から、自分にとって必要な情報を整理していった。(Jamboard)

主張

いろんな人に対応できる!

根拠・理由

最近、外国人が増えてきています。そんな中、いろんな言語が話せないと対応できません。しかし、AIが接客するといろんな言語に対応できるので、上手に接客ができます。

<https://shopforce.jp/blog/2546/>

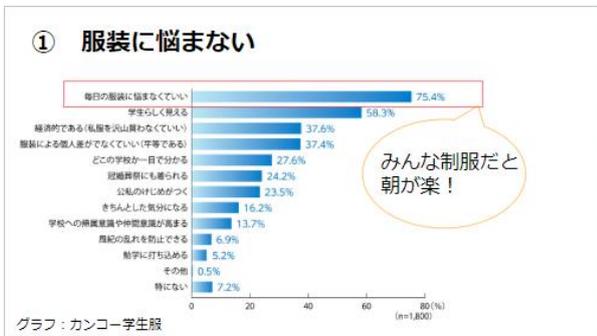
主張の根拠や理由を、詳しく文章やグラフなどの資料を使って表していく。(Jamboard)



主張の根拠や理由が妥当か同じ立場同士で確認する。相手への質問や反論も協議する。

○まとめ・表現（5～6時間目）

クラゲチャートや、Jamboardに整理された情報を参考にしながらミニディベートの発表用資料を作成していく。



①イレギュラーな対応ができない。(緊急事態時の対応ができない)

ロボットの聞き間違いがありそう

レジが聞かなかったとき対応ができない

接客時の漏れがちな点

すでに Jamboard で必要な資料は整理されているので、短時間でスライドを作成していく。

○振り返り・改善（7時間目）

作成した資料を効果的に使いながらミニディベートを行った。聞き手は、主張と根拠はつながっているかなどの視点を持ちながら、討論を聞く。formsを使って、単元の振り返りを行った。



今日のミニディベートを振り返って、自己評価をしてみましょう。*

1 2 3 4 5
悪い ○ ○ ○ ● ○ よい

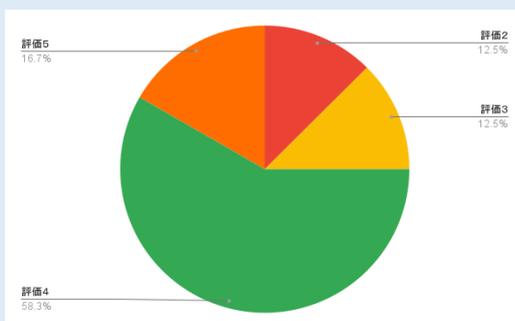
自己評価の理由を、120字程度で書きましょう。*

反論の時がすごく難しかったです！
なぜかというと、どんな質問が来るのが予想していたのが聞かれなかったからです。
でも、主張の時は大きい声で話せましたし、時間もちょうどだったので良かったです。
またやれるのなら、今度はもっとどんな質問が来るのかいっぱい予想して、準備万全な状態でやりたいです！

実践を終えて

○成果

- ・社会科等でも、自分たちで情報を集めて必要な情報を整理していく経験を積んでいたの
で、単元をスムーズに進めることができた。（学習を進める力・情報の収集）
- ・同じグループで「情報を整理・分析」したものを確認したり、相手への質問や反論を考
えたりすることで、その後のミニディベートも活発になった。また、Jamboardを共有
ドライブで活用していたので、友達の意見へのアドバイスや修正も容易に行えた。（整
理・分析）



- ・コラボノートで資料を共有しているので、ディ
ベートの資料作成も容易に行うことができた。（ま
とめ・表現）
- ・自己評価（オレンジ5、緑4、黄色3、赤2）を
見ると8割程度の児童がこの単元の学習に満足
感をもって行うことができたことが分かった。

○課題

- ・子どもたち同士で収集した情報を読み取る力に差が見られた。どのように情報を読み取
るのか指導が必要。
- ・「整理・分析」の場面では、教師側から「クラゲチャート」や「Jamboard」の指定をし
たが、今後は思考ツールやアプリを児童自身で決めていけるようにしたい。